




收受年月日	議 長	事務局長	書 記
27.6.8			
第 52 号			

平成 27 年 6 月 8 日

埴町議会議長 鈴木道男 様

経済厚生常任委員会委員長 割貝寿一



所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件

町道管理事業及び埴町保健推進員事業

2 調査の経過及び結果

(1) 町道管理事業

- ①調査日時 平成 27 年 5 月 22 日 9:30～10:55
- ②調査場所 現地及び委員会室
- ③調査対象 西河内塩沢線、上福沢 1 号線及び北野松岡線
- ④出席委員 割貝寿一、鈴木安次、藤田一男、吉田克則、藤田恵二
小貫初枝（現地は欠）
- ⑤説明員 まち整備課長ほか担当職員
- ⑥調査方法 現地調査のほか説明員から聞き取り調査を行った。
- ⑦調査の結果

ア 事業の概要

道路橋梁に要する今年度予算は、4 億 4871 万 7,000 円で、そのうち道路維持費は 1 億 3835 万円である。前年度と比較して約 7000 万円増額となっている。これは、社会資本整備総合交付金事業として道路の維持補修経費が増額になったことによるものである。

社会資本整備総合交付金事業として実施するのは、町道 5 路線の舗装改良工事のほか町道 196 路線のうち 165 路線の調査業務である。以下、予算額と補助採択見込額等を表に示すが、補助要望額に対し補助交付予定は約 75%であった。事業計画実施のため追加要望など財源確保に努めたいとしているが、計画事業量の縮小も視野に入れた対応をせざるを得ないとしている。

内 容	予算額 A	補助対象額 B	現時点での A の財源		
			補助金 C B×65%	町費 (A-C)	
				うち起債額	
維持改良工事	75,363	56,970	37,030	38,333	19,900
調査業務委託	20,000	15,000	9,750	10,250	5,200
計	95,363	71,970	46,780	48,583	25,100

※ B÷A≒75%

現地調査を行った 3 路線の今年度の事業計画は次の通りであった。

路線名	工事計画概要			施工予定箇所
	工種	幅員	延長	
北野松岡線	舗装工 アスファルト 5c m セメント安定処理 17c m	全幅 7.5m	140m	東白川ゴルフセンター 付近
西河内塩沢線	舗装工 アスファルト 5c m セメント安定処理 17c m	全幅 7.0m	350m	奥久慈木材流通センタ ー付近
上福沢 1 号線	舗装工 アスファルト 5c m セメント安定処理 11c m	全幅 7.0m	60m	協和木材入口付近

※セメント安定処理：ここでいうセメント安定処理とは路上再生路盤工法のことです。既設のアスファルト舗装を現位置で破砕し、同時にセメントと既設路盤材料を混合し、締固めて安定処理した路盤を新たにつくる工法。既設舗装をそのまま有効利用できるなど工期短縮が図れる。

イ 意見

今回調査した施工予定箇所は、路面の傷みが激しく、凹凸も著しい。早急に復旧する必要がある。町道舗装は、簡易アスファルト舗装要綱に基づき施工されているとのことだが、当該箇所は大型車両の通行が他に比べて多く、通常の規格では耐えられないのではないかとと思われる。必要に応じ高規格での舗装も検討すべきである。

町道の現地確認は定期的に行っているとの説明であったが、町道全体では、路面にくぼみがあるなど通行に支障をきたすのではと危惧される個所が散見される。管理不徹底道路での事故に対して町の責任は免れない。きめ細かい管理が望まれる。

なお、今年度実施される道路ストック総点検事業については引き続き調査していきたい。

(2) 埜町健康推進員事業

- ①調査日時 平成 27 年 5 月 22 日 11:00～12:05
- ②調査場所 委員会室
- ③調査対象 埜町健康推進員の活動
- ④出席委員 割貝寿一、鈴木安次、藤田一男、吉田克則、藤田恵二
小貫初枝
- ⑤説明員 健康福祉課長
- ⑥調査方法 説明員から聞き取り調査を行った。
- ⑦調査の結果

ア 事業の概要

本事業は、

- ・埜町地域保健活動事業の円滑な推進
- ・妊産婦、乳幼児、成人及び老人等地区住民の健康の保持増進
- ・明るく住みよい地区をつくる

ことを目的として保健推進員を設置している。5 月に改選があり、定員 38 人のところ現在 37 人（うち 3 人は男性）が委嘱されていた。任期は 3 年である。これまでの活動は、別紙提出資料のとおりで、町が実施する健康事業の普及啓もうなどに取り組んだほか各種研修会に参加し自己研さんに励んだ。改選により新たな推進員が決まったが、1 年目は「自分の健康意識を高める」、2 年目は「家族から健康づくりをすすめる」、3 年目は「地域での健康づくりをすすめる」ことを目標に活動にあたるとしている。なお、活動謝金として年間 1 人当たり 2 万円が支給されている。

イ 意見

長期総合計画における町の健康づくりの目標は「住民一人ひとりが主体的に健康づくりを実践する」ことである。そのためには「地域ぐるみの健康づくり」を推進するとしている。保健推進員はまさにその先導者として活動することが求められる。

町は、保健推進員としての意識向上を図り、相互交流を促して地域での活動を推進できる環境づくりに努めなければならない。3 年を待たないで地域活動が活発に行われるよう、活動謝金等待遇面を含めた対策が必要である。

3 委員報告書

別紙のとおり

調査・研修等報告書

氏名	梶 貝 野 一	提出年 月日	平成27年6月8日
調査等 名称	経済厚生常任委員会所管事務調査		
調査等 の日時	平成27年5月22日	場所	現地 委員会室
調査等 の内容	まち整備課所管事務調査		
	健康福祉課所管事務調査		
意見 感想	町道管理事業 社会資本整備総合交付金事業で 整備される 現地視察の3ヶ所は 痛林内工業 ^{団地} と関連する道路であり 重量のある車両が往來する事から セメント安定処理工法に期待したい。		
	埴町保健推進事業 推進員同士の連携を深め活動しやすい 環境づくりが必要と感じた 又、今と異なる 選出の方法、構成が あって良かったのではないかと思う。		

調査・研修等報告書

氏名	鈴木安次	提出年 月日	27. 6. 8
調査等 名称	経済厚生常任委員会		
調査等 の日時	平成27年5月22日	場所	委員会室
調査等 の内容	第1、町整備課所管事務調査		
	・町道管理事業		
	第2、健康福祉課所管事務調査		
	・埴町保健推進事業		
意見 感想	<p>町道管理は196路線と埴町全体に張り巡らされていて、担当課が定期的に巡回をして傷んでいる所を補修しているとのことであったが、埴町は路線数の多さと山間部の範囲が広いので目が届かないのが現状であると思う。</p> <p>鮫川村の例ではあるが役場職員を路線ごとに担当者を決めて傷んでいる所の点検やゴミ拾いなどをするのも方法であると思うが検討してはどうか。</p>		
	<p>保健推進事業は一年目で「自分の健康意識を高める」二年目は「家族から健康づくりをすすめる」三年目は「地域での健康づくりを進める」との方針で進めているようであるが、保健推進を卒業した人の協力を引き続き如何に協力願えるかが大切ではないか。</p> <p>集団検診後の健康相談会参加人数を見ると、参加されている方が少ないようである。現職の保健推進員さんと卒業された保健推進員さんが協力していけばより効果のあがるのではないか。</p> <p>又、埴厚生病院が行っている出前講座等も利用しながら町で行っている健康相談会や健康教室のマンネリ化防止も図っていくべきと思われるが検討の余地はあると思う。</p>		

調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則	提出 年月 日	平成 27 年 6 月 8 日
調査等 名称	経済厚生常任委員会所管事務調査		
調査等 の日時	平成 27 年 5 月 22 日 9 : 30 ~	場 所	現地及び委員会室
調査等 の内容	まち整備課所管事務調査 健康福祉課所管事務調査		
意見感 想	<p>まち整備課所管事務調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道管理事業 <p>上福沢 1 号線及び北野松岡線の路面を現地調査した。傷んでいる町道を補修するもの。事業名は社会資本整備総合交付金事業で計画している。路面再生工を取り入れた工事を予定している。この地区は工業団地であり製品運搬等の支障が出ないように配慮した工事が必要と感じた。</p> <p>健康福祉課所管事務調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埴町保健推進員事業 <p>地域保健活動事業の円滑な推進を図り、妊産婦、乳幼児、成人及び老人等地区住民の健康を保持増進する目的で町保健推進員事業を行なっている。各保健推進員が地区で活動しやすい環境づくりをすることにより町全体の健康増進が図られると思われた。</p>		

埴町議会

調査・研修等報告書

氏名	藤田 一男	提出年 月日	平成27年6月8日
調査等 名称	経済厚生常任委員会所管事務調査		
調査等 の日時	平成27年5月22日	場所	
調査等 の内容			
意見 感想	<p>1、整備課所管 町道、農道の調査は各区の陳情が出てくるのを待ってないでつねに職員が見回りができる、この見回りには予算はかからない。職員の常の仕事である予算がないと出来ないというのはおかしい。つねに町民の安全性の為の確認をしていただきたい。最近道路の不備で補償をすることがある、このようなこともなくなるのではないか。</p>		
	<p>2、健康福祉課所管 保健推進員の活動状況について調査したが、今年度半数ぐらいの方が新たにかわったとのこと、内男性が3名が任命されているといわれた。若い女性特に妊産婦への対応など気遣いは大丈夫なのか。任期は3年で1.2年目は自己の研修3年目でやっと地域で活動するとの説明だが3年のうち2年間は自己研修だけで実質地域に貢献するのは1年だけである。これでは活動内容が見えないといわれても仕方がない。研修をしながら同時に活動もするという方法をしなければ元気で長生きの町づくりは進まないおもわれる。大変であるが頑張っていたきたい。報酬をもっと上げてあげたらどうか。民生委員もそうであるが人選は慎重に。</p>		

報告書

藤田 恵二

町整備課

北野,松岡線、西河内,塩沢線の現地調査

- 1、 路面は傷んでいたが補修されていた。
- 2、 工業団地の今後の工事は路盤工（セメント安定処理）に期待したい。
- 3、 町道は路線が多く今後も見回りが必要。

健康福祉課

- 1、 町保健推進員さんの活動報告を受けた。
- 2、 各地区で活動が行われていた。
- 3、 38名の推進員さんの人選は大変だと思う。